

重点課題	事業計画		実施(予定)計画	実施内容	成果と課題	
1) 専門的な相談支援	委託相談支援(3障害)	継続	・ケース対応 東と西に地区割し、対応件数の集約とケースの共有 ・ケースから見える地域の課題を抽出・整理する。	困難ケース 90件 延べ相談対応回数 3,023件 虐待ケース 11件 延べ相談対応回数 112件	・対応困難ケース、虐待ケースについて専門的に支援を実施。 ・朝礼、ミーティングなどでケース支援の進捗について内部共有に努めた。 ・対応困難ケースの増加と課題の複雑化。	
	基幹相談支援センターの機能強化	継続	基幹相談支援センター運営のための研修参加	・育成会研修 6/26, 8/28, 11/7 ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム研修 7/9 ・権利擁護関連研修 8/9, 12/26, 2/23 ・精神保健福祉研修会 2/16 ・兵庫県相談支援専門研修・リーダー研修 2/28, 3/1 ・精神障害者地域移行・地域定着支援研修 3/8 ・兵庫県相談支援を“つなぐ”研修 3/19	・基幹相談の役割や地域移行、対応困難ケース、虐待対応への支援方法に関わる研修に参加し、資質向上に努めた。	
	サービス等利用計画	充実	・サービス等利用計画(案) *各法人にて計画やモニタリングチェックの実施	・計画相談PTを組織 ・芦屋市版「計画相談支援の手引き」を作成 ・市内の計画相談員が意見交換できる場「計画相談連絡会」を実施 1/10, 2/22, 3/26	・新任の計画相談員向けの芦屋版「計画相談支援の手引き」(第1版)を作成。 ・計画相談事業の新規事業所や開始を検討している事業所に「計画相談支援の手引き」をもとに市内の計画相談の流れを説明し、計画相談事業所の拡大を図った。 ・「計画相談連絡会」を継続的に行っていく中で、その中で出た知りたい疑問をもとに、学校教育課による説明会を実施した。	
2) 地域の相談支援体制の強化の取組	相談支援事業者への指導・助言	継続	・一般相談員、計画相談員への助言 (相談内容への助言等、計画作成についての助言等) ・一般相談ミーティング、クローバー会議への出席	・随時 対応ケースへの助言、同行訪問等を実施 ・一般ミーティングへの会議参加(月1回) ・クローバーとの支援調整会議への参加(年5回)	・一般相談やクローバーとの会議では、ケース検討を行い、支援方法の検討を行うとともに情報共有に努めた。 ・事業所に関わらず、相談員間の協力体制の構築に努めた。	
	相談支援事業者への人材育成の支援	継続	・SV研修(月1回程度)	・事例検討:田中禎先生、田口隆司先生(各3回、計6回) ・地域福祉研修(1/24) ・ファシリテーション研修(1/29, 2/25)	・相談員が支援方法や介入の糸口に困難を感じる事例をもとに、精神医学的な観点からのアドバイスを受け、相談員の資質向上につながった。 ・会議運営のスキル向上に向けた研修を実施。 ・次年度からは、外部講師による事例検討会だけではなく、基幹相談員で事例検討会を実施していく。また、人材育成に向けて別途研修も実施していく。	
	地域の相談機関等との連携強化		継続	・民生児童委員への普及・啓発	・福祉高める運動(5/23, 5/24, 5/25) ・民生児童委員定例会(7/19) ・地域啓発PTを組織	・民生児童委員に見守り協力をするなど連携をより深めることができている。 ・地域福祉の視点を深めるため、社協地域担当による地域福祉研修を実施した。
			継続	・市内及び近隣事業所への普及・啓発	・放課後等デイサービス事業所説明会PTを組織 ・障がい児者・家族会支援団体「つなぐ」PTを組織 ・在宅療養支援推進会議への参加 ・生活困窮者支援事例検討会へ参加 ・特別支援学校(進路指導教諭対象)へ出講	・放課後等デイサービスにおける事業所説明会の実施協力を行い、2/28に実施した。 ・家族会等団体へのヒアリングをもとにパネル作成し、放課後等デイサービス事業所説明会において周知を支援した。 ・他分野での事例検討会に参加することで、連携システムの構築を行った。また、他機関に向けて障害福祉サービスの周知・啓発を実施した。
			継続	・地域発信型ネットワーク会議への参加	・地域福祉推進協議会 ・地域ケアシステム検討委員会 ・小地域福祉ブロック会議(5回)	・地域住民主体の会議に出席し、地域支援者と顔の見える関係づくりに取り組むことにより、地域での早期発見・困りごとに協力できるような情報提供できている。 ・65歳PTを地域発信型ネットワーク内でのPTへと提案する。
	地域生活を支える体制整備に係るコーディネート ・自立支援協議会の運営	継続	・事務局(障害福祉課)の運営への協力 ・実務者会の開催及び運営(年3回程度) ・専門部会の開催及び運営(年6回程度)	・自立支援協議会(合計3回開催、8/8, 12/27, 3/27) ・実務者会開催(合計2回開催、10/16, 11/27) ・専門部会開催(合計6回開催、8/22, 9/26, 10/24, 11/28, 1/23, 2/27) ・65歳プロジェクト(合計3回開催、10/11, 11/13, 12/5)	別途 報告のとおり	
	地域生活を支える体制整備に係るコーディネート ・自立支援協議会としての活動	充実	・市内事業所説明会の開催(福祉フェア)	・保健福祉フェアにて、市内事業所による合同説明会を開催(7/28)	昨年度に引き続き、パネル展示による事業所紹介、発表会、カフェに加え、事業所紹介冊子の配布やキッズコーナーなどを実施し参加者数が倍以上と大幅に増加した。	
	充実	・障がい児・者作品展の合同開催	・福祉センターや木口記念会館にて開催(12/4~10)	昨年度同様、J:COMや神戸新聞社による広報や今年度からコンシェルジュによる案内や記入者への粗品の充実を試み、感想文記入者が263通(前年度:170通)と増加した。		
高浜1番社会福祉複合施設設置に向けた調整	充実	・事業開設に向けて、事業所・市とサービス内容の調整	・高浜町社会福祉複合施設整備に係る協議(9回)	・事業開始前は、地域の現状や課題を拠点等機能でどのように解消できるかを検討した。 ・事業開始後は、進捗確認や24時間相談の機能について検討している。		
3) 地域移行・地域定着	地域移行・地域定着の促進の取組	継続	・施設・病院等への地域移行に向けた普及啓発	・近隣精神科病院への地域移行支援体制の聞き取りと入院患者(4人)への面会 ・前年度に訪問した病院へ定期的な状況確認を行う。	別途 報告のとおり	
		充実	・地域における地域移行・地域定着に向けた基盤づくり	・阪神南園域精神障害者地域移行・地域定着支援事業推進会議(9/19, 3/13) ・実務者会(6/7, 9/6, 3/7) ・地域移行 支援終了2件・支援中4件		
		充実	・ケース対応			
4) 権利擁護・虐待防止	障がい者虐待防止の取組	継続	・ケース対応	・虐待通報受理9件、そのうち虐待認定2件 ・前年度までの対応中件数は2件、そのうち1件終結	虐待対応については、フローに沿って適切に対応できている。	
		継続	・虐待ケースモニタリング ①ケース共有と対応進捗管理 ②システム改善や地域資源開発等の検討 ③虐待ケースの具体的支援方策を検討	・モニタリング会議開催(12/19)	実施できている。	
		継続	・夜間・休日の対応	・夜間・休日に携帯電話で対応	実施できている。	
		充実	・障がい者虐待防止のための研修会開催(年1回) (施設従事者虐待の防止のための研修) (権利擁護支援センター、自立支援協議会と協働で実施)	・12/3「障がい者虐待の基本を学ぶ～障がい者に対する虐待はなぜ起こるのか～」 障がい者施設従事者等72人(前年度62人)の参加	・児童事業所も含め、新規やこれまで参加が無かった事業所に参加いただけた。 ・企画の段階で対象者を絞りづらい点はあるが、来年度は経験の浅い施設従事者に対象者を絞り、虐待防止の基本をテーマとし、児童・成人両方の施設従事者が参加しやすいよう、時間帯を分けて2回実施を検討している。	